

自己点検・自己評価結果

I 教育理念・教育目標

令和 6 年度は令和5年と変わらない結果となった。教育理念および教育目標がより生徒・教職員へ浸透していくよう、学院生活の中に常に理念・目標を取り入れ関わるよう工夫する。

II 教育課程

令和 6 年度は全体的に上昇・横ばいの傾向となった。

しかし、進級・卒業認定のための評価基準や公平性・妥当性の担保については課題が残るため、今年度対応を検討する。

また、生徒指導における生徒の人権への配慮について教職員一同学びなおし対応を見直し、生徒を育む教育をしていきたい。

III 教育活動

令和 6 年度は令和5年度から一転し全体的に上昇傾向となった。

組織間・各部署間の連携については、前年度同様課題が残る。

学院長や事務長の職員への介入と各部署間のコミュニケーション機会の活性化を図る。

事務長・教務主任・訪問看護管理者会議を利用し提案していきたい。

校舎移転については医師会長・学院長を中心に HMC と交渉中。

決定次第、計画的に対応を進めていく。

教材については、限られた予算の中で吟味し予算執行していくが移転も視野に整理整頓・縮小化に努める。

志願者数・入学者数の確保については地域の協力も得ながら、次年度 28 名の入学者を迎えられるよう努力したい。